

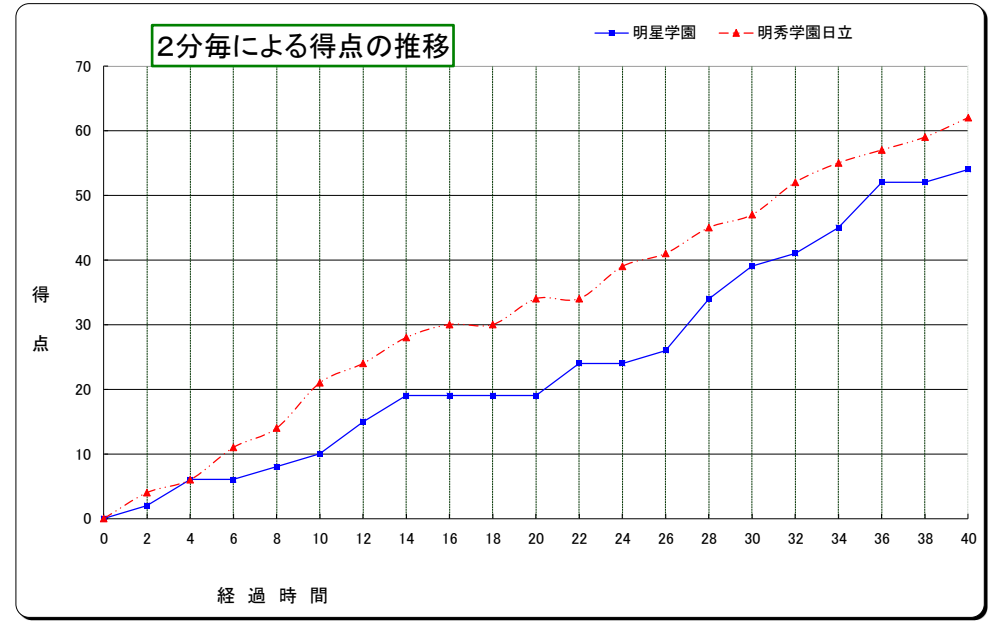
平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土)
さいたま市記念総合体育館
Aブロック第1回戦

チームA			チームB
明星学園 (東京)	54	{ 10 1st 21 9 2nd 13 20 3rd 13 15 4th 15 }	62
		明秀学園日立 (茨城)	

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	平松 飛鳥	18	4	10	3	21	0	0	1	2	4	6	5	1	8
5	立山 果奈	9	1	4	3	6	0	0	4	0	3	3	3	0	6
6	水野 菜穂	7	0	0	3	7	1	4	2	6	2	0	1	0	0
7	王 昕	12	0	0	6	9	0	1	4	3	6	0	1	0	1
8	鈴木 梨菜	2	0	2	1	6	0	0	3	5	4	2	1	0	1
9	本多 なるみ	0													
10	宮下 早紀	2	0	0	1	2	0	0	3	2	3	2	0	0	2
11	川野 舞	4	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	1	0	2
12	島田 莉帆	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1
13	小畑 恭子	0													
14	齋田 鮎美	0													
15	星 亜矢乃	0													
16	内藤 真穂	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	2
17	加藤 奈月	0													
18	出澤 真理	0													
コーチ	椎名 真一									0	2				1
		54	5	19	19	55	1	5	18	21	28	14	13	1	24
		確率	26.3%		34.5%		20.0%			計 49					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	稲葉 夏海	18	0	0	6	11	6	7	0	1	9	0	1	0	4
5	大貫 詩織	19	2	6	4	11	5	7	2	1	7	6	2	0	3
6	中尾 友美	16	0	0	6	19	4	6	2	2	8	2	1	3	7
7	柳沢 夏希	5	0	3	2	4	1	2	0	1	2	2	1	0	5
8	田崎 由真	0													
9	中川 佳苗	2	0	2	0	1	2	4	1	0	1	2	5	0	1
10	小田部 なな	0													
11	余多分 茜音	0													
12	中野 由唯	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	3	1	0	2
13	前田 沙綺	0													
14	大山 千晴	0													
15	樋本 さち	0													
16	小野 紗也加	0													
17	堀井 美沙子	0													
18	福田 恵梨	0													
コーチ	筑 波 大									4	5	1			1



戦評

第1P: 両チーム共にマンツーマンでゲーム開始。序盤はお互い高さを活かした攻撃で得点する。明星は#4平松の3Pなど外角のシュートを積極的に打つが硬さのせいか点数に結びつかない。明秀日立はリズムに乗れない明星の隙について#5大貫からのファーストブレイクや#6中尾のインサイドの堅実なプレイで21-10で1Pを終える。

第2P: 明星は#6水野や#4平松のドライブインや3Pで反撃を開始するが、明秀日立の堅実なディフェンスをなかなか崩すことができない。対する明秀日立はディフェンスリバウンドからのファーストブレイクや#4稲葉、#6中尾のポストプレーで確実に得点する。中盤、明星はタイムアウト後に3-2ゾーンに変えるが、明秀日立はディフェンスを頑張り得点を許さない。結局タイムアウト後、得点を許さず粘り強く守った日立明秀が34-19で前半を終える。

第3P: 明星は3-2ゾーン、明秀日立はマンツーマンで後半をスタートする。明星は#4平松の3Pやドライブインで起点を作り連続得点し点差を10点差とする。明秀日立はすぐにタイムアウトを請求、その後は明星のゾーンディフェンスに対し徹底的にインサイドにボールを集め得点し点差を15点にする。今度は明星がタイムアウトを請求し、ディフェンスをゾーンディフェンスやマンツーマンディフェンスに変化させ相手のミスを読み流れをつかむ。オフェンスでは#4平松の3P#7王のリバウンドシュートが決まりだし6点差に詰め寄るも明秀日立の#5大貫が頑張り8点差で最終ピリオドへ

第4P: 一進一退の攻防が続く中、明星の#4が3Pを決めれば明秀日立の#4平松がインサイドで得点し、明秀日立が8点リードでの緊張感ある主導権争いが続く。残り5分明星のタイムアウト後、試合は動く。明星の連続得点で5点差に詰め寄せると、明秀日立は明星のチェンジングディフェンスに戸惑いミスを連発する。しかし、明星はそのミスを得点に結びつけることができない。結局、最後は落ち着きを取り戻した明秀日立が上手にゲームをコントロールし62-54で2回戦に進出を決めた。

		62	2	11	19	49	18	26	6	9	32	15	11	3	23
		確率	18.2%		38.8%		69.2%			計	41				

主 審 小坂井 郁子

副 審 田中 美寿紀

記入者 成田 靖